

第3期「日野人げんき！」プラン

平成30年度進捗状況評価報告



日野市健康福祉部健康課

【第3期「日野人げんき！」プランについて】

設定期間:平成28年度～令和2年度

≪目的≫ **健康寿命延伸のための取り組みの推進**
〔取り組みの方向〕 **ヘルスケア・ウエルネス戦略**

上記を掲げ大目標1～8を設定
大目標1～4については本プランで推進。
大目標5～8については他の部門の事業・計画により推進。

【平成30年度評価の方法について】

・評価体制:『主管課評価』→『庁内評価会議』→『評価推進委員会』
の3段階で実施。

『主管課評価』 取り組みを担当している課が評価

『庁内評価会議』 「日野人げんき！」プラン 評価実施要綱に基づき庁内で評価
庁内評価メンバー 男女平等課長、保険年金課長、都市計画課長、
生活福祉課長、保育課長、中央公民館長、健康課長

『評価推進委員会』 「日野人げんき！」プラン 評価実施要綱に基づいた構成メンバー
(1) 公募による市民代表3名
(2) 医師会推薦1名、歯科医会推薦1名、薬剤師会推薦1名
(3) 日野市職員3人…健康福祉部長、子ども部長、教育部長

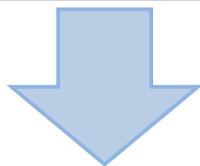
・評価の基準:下記5段階で設定

「達成」 指標が10割または完全に達成されている
「順調」 指標が約8割達成、または順調に進んでいる
「おおむね順調」 指標が約5～6割達成、進んでいる
「一部見直し」 指標が約4割程度の達成、または一部の修正が必要
「全面見直し」 全面的な修正を要する

平成30年度評価内容

主管課評価

- ・主管課が本プランで設定した数値目標（健康指標）を含め中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・市民3,000名を対象とした健康づくりに関する調査を実施。調査結果は、指標に盛り込むとともに調査結果に対するコメントも掲載した。
- ・主管課での評価結果は16の中目標に対し「達成」・・・2、「順調」・・・5、「おおむね順調」・・・9
平成29年度に比べ「達成」の評価が増えている。（後ページ【参考資料】参照）
- ・健康づくりに関する調査を実施したことにより、今まで指標に対する実績数値が出せなかった項目においても、実績値を示すことができた。



庁内評価会議

- ・上記「主管課評価」をふまえ、本プランで設定した数値目標（健康指標）を含め中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・庁内評価会議での評価結果は 16の中目標に対し「達成」・・・2、「順調」・・・5、「おおむね順調」・・・9
平成29年度にはなかった「達成」の評価を新たに得られた。
- ・全体的にはそれぞれ取組んでいる事業の方向性や工夫に対しては良い評価が得られているが、各健(検)診受診率の伸び悩みや、急速な時代の変化に対する新たな需要に対応するための体制整備など課題も多く、業務の在り方の改善が求められている。



次ページへ

つづき



評価推進委員会

- ・上記「主管課評価」「庁内評価会議」をふまえ、中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・「評価推進委員会」の審議結果報告を受け、平成30年度の評価結果として市民へ公表していく。
- ・評価推進委員会での評価結果は16の中目標に対し「達成」・・・2、「順調」・・・5、「おおむね順調」・・・9
平成29年度にはなかった「達成」の評価を新たに得られた。
計画が着々と進行していることを評価された。
- ・「評価推進委員会」の各中目標の結果は次ページ『第3期「日野人げんき！」プラン平成30年度評価概要（評価推進委員会）』を参照してください。

評価推進委員会評価結果を受けて

- ・平成29年度評価より「達成」の評価が増え、3年目となった本年度は、プランが着実に進行していることが評価されました。
「達成」の評価を得た項目については、今後も目標を維持達成するために、実施内容を継続していきます。
「達成」以外の評価については、課題を指摘されている項目があり、データ分析による別角度へのアプローチや、時代の変化に沿った新たな要素を盛り込んだ事業展開が必要とされました。
- ・今後は、「評価推進委員会」の評価結果をもって各主管課にフィードバックしています。
本評価を含め主管課で検討し、今後の取り組みや改善につなげていきます。

第3期「日野人げんき！」プラン平成30年度評価概要（評価推進委員会）

・評価の基準：下記5段階で設定

- 「達成」 指標が10割または完全に達成されている
- 「順調」 指標が約8割達成、または順調に進んでいる
- 「おおむね順調」 指標が約5～6割達成、進んでいる
- 「一部見直し」 指標が約4割程度の達成、または一部の修正が必要
- 「全面見直し」 全面的な修正を要する

| 大目標 | 中目標 | 中目標への平成30年度評価 | 平成30年度評価と課題 |
|--------------------------------|---|---|--|
| 1、健康づくりを推進します | 1 妊娠出産子どもの健康診査や予防接種及び相談体制を充実します | 順調 | 目標値から見て実績はほぼ達成されています。 切れ目のない子育て支援の基礎となる重要な取り組みであるため、子ども家庭支援センター等と情報共有し、現在の仕組みを継続して下さい。 |
| | 2 生活習慣病予防（国保特定健診・特定保健指導）を推進します | おおむね順調 | 様々な工夫をしていることは評価できますが、実績につながっていません。利用者の改善事例などを積極的に紹介するなど、健診受診の必要性を謳い、受診者の意識改革を行うことが必要です。 |
| | 3 運動による健康づくりを推進します。 | おおむね順調 | 輝等運動施設の利用者が増加していることから運動による健康づくりの必要性は市民の間では年々高まっていると思われます。 高齢化が進む中、週2回以上の運動と言わず身体状況に合わせたサービス、情報の提供が必要と考えます。 |
| | 4 喫煙のリスクに関する正しい知識の普及・啓発に取り組みます | 達成 | 目標値から見て実績はほぼ達成されています。 喫煙のリスクの知識の普及・啓発も重要ですが、今後は更に禁煙指導にも力を入れるべきと考えます。 また、電子たばこの普及率が高まる中において、電子たばこも含めた正しい知識の普及啓発にも努めてください。 |
| | 5 心の健康づくりを充実します | おおむね順調 | 睡眠の重要性に関する周知啓発の取り組みは評価します。 今後更に充実した取り組みを継続していく中で、睡眠の質についてや専門医の紹介も含めた情報提供ができる体制を構築して下さい。 |
| | 6 健康づくり推進員・健康体操サポーターによる市民の健康づくりを推進します。 | おおむね順調 | 幅広い層からの新たな人材育成に取り組むとともに、高齢化社会に進む中で、体操事業にフレイル予防など新たな要素を盛り込んだ事業へと展開が必要です。 |
| 2、がん対策を推進します | 1 科学的根拠に基づくがん予防を推進（1次予防）します。 | おおむね順調 | 受診しやすい環境づくりや検診受診メリット紹介など、受診率向上のために更なる取り組み、工夫が必要です。 |
| | 2 がんの早期発見を推進（2次予防）します。 | おおむね順調 | 更なる受診率向上を目指し、受診勧奨となる対象者の工夫を重ねてください。 また、がんの早期発見のために精密検査の受診勧奨も積極的に実施してください。 |
| | 3 がんの健康教育およびがんの普及・啓発活動を推進します | 達成 | 今後も継続して取り組んでください。 学校等現場と意見交換を重ね、より理解が深まりがん教育の内容が浸透するよう工夫してください。 |
| | 4 がん患者やその家族への支援をすすめます | 大目標4「住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します」により評価 | |
| 3、歯とお口の健康づくりを推進します | 1 【乳幼児期】歯みがきや噛む習慣を身につけ、むし歯のない健康なお口を育てます。 | 順調 | 継続した取り組みは評価します。 フッ化物の利用は正しい情報の提供と普及啓発に努めてください。 |
| | 2 【学童期】歯とお口の健康づくりの基礎をつくりむし歯と歯周病を予防します。 | おおむね順調 | 小学生の実績値が下がっているため、今後も学校との連携で家庭への働きかけを継続して取り組んでください。 |
| | 3 【成人期】かかりつけ歯科医で定期的に健診を受診し自己管理方法を取得することでお口の健康および全身の健康を守ります。 | おおむね順調 | 実施内容が健診受診率につながっていないため、今後は未受診世代を分析し、受診率や定着率が上がるよう工夫に取り組んでください。 |
| | 4 【高齢期（障害含む）】自分に合った口腔ケアを実践ししっかり噛める歯を保ち食事を楽しむことをすすめます | 順調 | 連携システムの広がりは評価します。 試行を通じて更に内容が充実するよう取り組んでください。 |
| 4、住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します | 1 総合的な健康情報の発信の体制を確立します | 順調 | 情報発信の実績は評価しますが、今後は市民が必要としている情報を求めるところへと更なる見直しと工夫が必要です。 |
| | 2 医療と介護の連携を推進します | おおむね順調 | 今時代の中、急速な需要に対応するための体制整備を、関係機関と連携し進めてください。 |
| | 3 地域連携による認知症対策を強化します | 順調 | 目標に対し取り組み、実績は評価できます。 今後も包括支援センター等関係機関と連携し、地域連携型のサポート体制の機能強化、サービス推進を進めていく必要があります。 |

< 評価詳細 >

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

| | |
|-------------|---------------------|
| 大 目 標 | 1健康づくりを推進します |
|-------------|---------------------|

| | |
|-----------|--------------------------|
| 「達成状況の項目」 | |
| ・達成 | : 指標が10割または完全に達成 |
| ・順調 | : 指標が8割達成または順調に進んでいる |
| ・おおむね順調 | : 指標が5～6割達成、進んでいる |
| ・一部見直し | : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要 |
| ・全面見直し | : 全面的な見直しを要する |

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| 主管課評価 | | | | | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | | | | | | | | |
|-------|---|-----|---------------|-------|------|-------|-----|---|------|--|------|---|------|---|-----|-----|---|--|-----|-----|---|--|
| No. | 中目標 | 担当課 | 数値目標 | | | H30年度 | | 実施内容 | 年度評価 | 達成状況と課題 | 達成状況 | 評価と課題、指摘事項 | 達成状況 | 評価と課題 | | | | | | | | |
| | | | H30目標 | H30実績 | 実施内容 | 年度評価 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) | 妊娠・出産・子どもの健康診査や予防接種及び相談体制を充実します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P23～ | 健康課 | 切れ目ない支援を受けた割合 | | | 100% | 99% | 保健センター内に専用面接室を開設し、土曜日も妊婦面接を実施。 妊娠届出者妊婦1,402人うち、妊婦面接は1,394人に実施した。 | 順調 | 妊婦全数面接は8名とつながることができなかったが、その理由が長期の里帰りや、体調不良など面接不可の理由がはっきりしている方がほとんどであり、必要な面接はおおむね実施できた。 | 順調 | 健康診査は、取組強化により課内、他機関との連携体制が確立されている。今後も勧奨方法の工夫を検討し、この状況を維持発展してほしい | 順調 | 目標値から見て実績はほぼ達成されています。切れ目のない子育て支援の基礎となる重要な取り組みであるため、子ども家庭支援センター等と情報共有し、現在の仕組みを継続して下さい。 | | | | | | | | |
| | | | 未受診児の状況の把握割合 | | | | | | | | | | | | 98% | 99% | H27年度からは転入者も含めた適正な対象者とし、未受診者フォローの全数把握に取り組んだ。 乳幼児健診 対象者1,458人 受診者1,396人 1歳6か月児健診 対象者1,530人 受診者1,507人 3歳児健診 対象者1,682人 受診者1,629人 | 健診受診率は平成29年度と比較し、3～4か月児健診・1.6健は微増、3歳児健診は微減傾向で目標未達成ではあるが、東京都全体では高水準で経過している。 | | | | |
| | | | 二種混合の接種率 | | | | | | | | | | | | | | | | 76% | 80% | 対象者へ年度初めに勧奨通知を送付。 対象者1,615人 接種者1,289人 | 予防接種は再勧奨通知を送付することで、目標の接種率を達成することができた。今後も接種率向上のために勧奨時期等を検討することも必要である。 |
| | | | 未受診児の状況の把握割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

| | |
|-----|---------------------|
| 大目標 | 1健康づくりを推進します |
|-----|---------------------|

| | |
|-----------|--------------------------|
| 「達成状況の項目」 | |
| ・達成 | : 指標が10割または完全に達成 |
| ・順調 | : 指標が8割達成または順調に進んでいる |
| ・おおむね順調 | : 指標が5～6割達成、進んでいる |
| ・一部見直し | : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要 |
| ・全面見直し | : 全面的な見直しを要する |

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| No. | 中目標 | 担当課 | 主管課評価 | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | | | | |
|-----|---|----------------|----------------|-------|--|--------|---|------------|---|--------|---|--------------------|-------|---------|---------|
| | | | 数値目標 | | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題、指摘事項 | 達成状況 | 評価と課題 | | | | | |
| | | | H30目標 | H30実績 | 実施内容 | 年度評価 | 達成状況と課題 | | | | | | | | |
| (2) | 生活習慣病予防(国保特定健康診査・特定保健指導)を推進します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P | 健康課 | 国保特定健診の受診率 | | 個別受診勧奨(はがき、電話)を実施(保険年金課)し、さらに40～64歳の希望者全員に集団健診を実施(健康課)した 対象者数24,946人 受診者数11,656人 | おおむね順調 | はがき、電話による受診勧奨など様々な工夫をして取り組みを行っているが、目標値に達していない。 | おおむね順調 | 特定保健指導を受診したことにより改善している方やメタボリックシンドロームの減少し改善がはかられたなど取り組みの成果もはっきりとしている。受診率は伸び悩みの傾向にあるため、対象者の意識改革等別の取り組みが必要である。また、ハイリスク者や無保険者等へのピンポイントでの指導など取り組みにも工夫が必要である。 | おおむね順調 | 様々な工夫をしていることは評価できますが、実績につながっていません。利用者の改善事例などを積極的に紹介するなど、健診受診の必要性を謳い、受診者の意識改革を行うことが必要です。 | | | | |
| | | | 国保保健指導の実施率 | | | | | | | | | H30目標 | H30実績 | 実施内容 | 達成状況と課題 |
| | | | メタボ該当者、予備軍の減少率 | | | | | | | | | H30目標 | H30実績 | 実施内容 | 達成状況と課題 |
| (3) | 運動による健康づくりを推進します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P | 健康課 文化スポーツ課 | 運動している人の割合 | | そのために「健康サポートルーム輝」の紹介と運動実施の勧奨を行った H30年度「健康サポートルーム輝」の延べ利用者数はH29年度16,462人からH30年度18,077人であった。 | おおむね順調 | 特定健診対象者へ運動の勧め・耀案内リーフレットを送付。また新規利用者を増やすため、分かりやすい施設案内リーフレットも作成し、配布した。「サポートルーム輝」の延べ利用者数は増加することができた。引き続き自分にあった運動方法を勧めていく。 | おおむね順調 | 「輝」の利用者数増加は評価に値する。今後も運動による「健康づくり」の取り組み継続と検討・工夫が必要である。 | おおむね順調 | 輝等運動施設の利用者が増加していることから運動による健康づくりの必要性は市民の間では年々高まっていると思われます。高齢化が進む中、週2回以上の運動と言わず身体状況に合わせたサービス、情報の提供が必要と考えます。 | | | | |
| | | | 週1回以上のスポーツ実施率 | | | | | | | | | H30目標 | H30実績 | 実施内容 | 達成状況と課題 |
| | | | 調査結果評価 | | | | | | | | | 調査書P56に対する課内評価コメント | | 達成状況と課題 | |
| | | | 週2回以上 66.8% | | ・運動継続期間5年以上64.4% | | ほか | | | | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

| | |
|-----|---------------------|
| 大目標 | 1健康づくりを推進します |
|-----|---------------------|

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| 主管課評価 | | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | |
|-------|---|-----|--------|--|--------------|--|--------|--|---------|--|------|--|
| No. | 中目標 | 担当課 | 数値目標 | | H30年度 | | 年度評価 | 達成状況と課題 | 達成状況 | 評価と課題、指摘事項 | 達成状況 | 評価と課題 |
| | | | H30目標 | H30実績 | 実施内容 | 達成状況 | | | | | | |
| (4) | 喫煙のリスクに関する正しい知識の普及・啓発に取り組めます 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P | 健康課 | 1 | 国保特定健診受診者における喫煙率を11.5%にしていく。 | 11.9% | 11.5% | 達成 | これまで希望者のみに実施していた禁煙相談に加え、今年度より、集団特定健診受診者のうち喫煙者全員に禁煙の短時間支援を実施した。実施内容が数値に表れている。禁煙に前向きな感想も聞かれ、今後も継続し、支援の場の拡大を図っていく。 | 達成 | リスクと正しい知識の普及啓発の取組みによる成果が出ている。更に喫煙率を減らしていくために禁煙指導等取組の維持継続が必要である | 達成 | 目標値から見て実績はほぼ達成されています。喫煙のリスクの知識の普及・啓発も重要ですが、今後は更に禁煙指導にも力を入れるべきと考えます。また、電子たばこの普及率が高まる中において、電子たばこも含めた正しい知識の普及啓発にも努めてください。 |
| | | | 2 | 市内の小中学校で、がん教育と合わせて、喫煙リスクに対する正しい知識の教育を全ての学校で実施していく。 | 72% (18校) | 100% (25校) | | 小学校・中学校ともに保健体育の教科書に掲載された禁煙教育を活かして、各学校で原則1時間ずつ授業中に扱った。実施率100%。 | | | | |
| | | | 3 | 日野市の一日あたりの喫煙本数を毎年0.04本減らしていく。 | 3.08本 | 2.3本 | | 胃・肺・大腸がん検診会場において、禁煙希望の方に対して個別相談の機会を設けている。また、通年実施している妊婦面接にて、喫煙者に対する禁煙支援、情報提供を行っている。 | | | | |
| | | | 調査結果評価 | | | <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; text-align: center;">調査書P66に対する課内評価コメント</div> <ul style="list-style-type: none"> ・1カ月の喫煙の有無: 吸ったことがない58.9% ・今後の喫煙について: たばこをやめたい20.9%、本数を減らしたい32.3%ほか ・禁煙のきっかけ: 禁煙治療費の助成16.9%、専門家から勧められること9.0%、禁煙治療が可能な医療機関の一覧が手に入ること2.5%ほか | | 回答者の半数が非喫煙者で、喫煙者の中でも約半数が、喫煙に対して何らかのアクションを起こしたいと考えている。その3割弱は禁煙治療や助言など専門的支援を期待しており、喫煙者に対する医療保健職の積極的アプローチは有効と考えられる。今後も様々な健診で、禁煙の短時間支援の機会を設け禁煙教育の場を拡大していく。 | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

| | |
|-----|---------------------|
| 大目標 | 1健康づくりを推進します |
|-----|---------------------|

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| | | 主管課評価 | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | |
|-----|---|-------|---------------------------|--|-------|-------|--|--------|---|---------|--|--------|--|
| No. | 中目標 | 担当課 | 数値目標 | | H30年度 | | 実施内容 | 年度評価 | 達成状況と課題 | 達成状況 | 評価と課題、指摘事項 | 達成状況 | 評価と課題 |
| | | | H30目標 | H30実績 | | | | | | | | | |
| (5) | 心の健康づくりを充実します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P | 健康課 | 国保健診の問診票から「休養十分取れてない」人を集計 | | 20.5% | 23.4% | 睡眠・休息はゼミナールでの講和やサポーターへの健康教育を行った他、ポピュレーションアプローチとして、健康課が発行し市内全戸配布している健康情報誌「ひのイキ」で睡眠をテーマをとりあげ、イラストをまじえ、身近な睡眠の話、睡眠のメカニズム、快眠を招く睡眠習慣、脳や体の休ませ方など、睡眠の大切さの周知啓発を行った。 | おおむね順調 | 睡眠・休息はゼミナールでの講和やサポーターへの健康教育を行った他、ポピュレーションアプローチとして、健康課が発行し市内全戸配布している健康情報誌「ひのイキ」で睡眠をテーマをとりあげ、イラストをまじえ、身近な睡眠の話、睡眠のメカニズム、快眠を招く睡眠習慣、脳や体の休ませ方など、睡眠の大切さの周知啓発を行った。 身近なゲートキーパーはゼミナールで81名を養成したが健康課側からの声掛けが必要。令和元年度よりゲートキーパー業務は障害福祉課へ移管される。 | おおむね順調 | 睡眠不十分は増加傾向にあり、啓発活動だけでは難しい課題だが、休息法やストレスへの対処法、専門医の紹介など分かりやすい情報の提供等取組の維持継続が必要である。 | おおむね順調 | 睡眠の重要性に関する周知啓発の取り組みは評価します。今後更に充実した取り組みを継続していく中で、睡眠の質についてや専門医の紹介も含めた情報提供ができる体制を構築して下さい。 |
| | | | 調査結果評価 | 睡眠の質の低下がこころ病や生活習慣病の要因になることの認知度知っている58.3%こころの病気に関わる8.7%生活習慣に関わる13.5% 睡眠についてあてはまること 「中途覚醒」40.6%「早朝覚醒」32.4%「入眠障害」19.9%、起床時に熟眠感を得られていない35.6% うつの兆候とされる睡眠障害がある人：7.9% | | | | | | | | | |
| (6) | 健康づくり推進員、健康体操サポーターによる市民の健康づくりを推進します。 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P | 健康課 | 健康づくり推進員の新規人数 | | 5人 | 4人 | そのために広報、カラー刷りのチラシ配布にて募集。その結果推進員による勧誘活動により新規登録に上げた。 | おおむね順調 | 4名が新規登録した。日頃の活動からの勧誘により登録につながっている。 平成29年度登録数50人 平成30年度登録数51人 | おおむね順調 | 新規登録は少ないがみられている。まだまだ健康年齢にある高齢者の活躍の場としてという意味でも推進委員及びサポーター活動は重要な場である。各世代からバランスのとれた人材が確保できるよう引き続き努力して欲しい。 | おおむね順調 | 幅広い層からの新たな人材育成に取り組むとともに、高齢化社会に進む中で、体操事業にフレイル予防など新たな要素を盛り込んだ事業へと展開が必要とす。 |
| | | | 健康体操サポーターの新規人数 | | | | | | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

| | |
|-----|---|
| 大目標 | 2. がん対策を推進します |
| | 目標1 がんによって亡くなる人を減らします |
| | 目標2 がんになってもみんなが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指します |

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| 主管課評価 | | | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | |
|-------|---|-----|------------------------------------|-------|-------------|--|---------|--|------|---------|--|--------|--|
| No. | 中目標 | 担当課 | 年度目標 | | 実施内容 | 年度評価 | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題 | 達成状況 | 評価と課題 | |
| | | | H30目標 | H30実績 | | | 達成状況と課題 | | | | | | |
| (1) | 科学的根拠に基づくがん予防を推進(1次予防)します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P35～ | 健康課 | 1 がんに関する生活習慣の取り組み | | | 実施内容 がんに関する生活習慣の取り組み ・たばこ対策や、運動、食生活、飲酒等、がん予防に関する生活習慣の施策を展開します 科学的根拠に基づくがん予防を推進(1次予防)します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P35～ | おおむね順調 | | | おおむね順調 | 国の指針に基づいた検診を組み立てて実行できている。 受診率向上のための受診勧奨に更なる工夫や、仕事や家事に支障がない検診機会の提供も検討が必要である。 | おおむね順調 | 受診しやすい環境づくりや検診受診メリット紹介など、受診率向上のために更なる取り組み、工夫が必要です。 |
| | | | 2 ウイルスの感染に起因するがんに対する取り組み | | | | | 達成状況と課題 受診勧奨については、B型C型肝炎ウイルス検診、胃がんリスク検査の未受診者に対し送付した。微増だが上昇しているが胃がんリスク検査について目標値を達成できなかった。 実施したアンケート結果によると、胃がんリスク検査33.6%、肝炎ウイルス検診34.3%の方が受診済との結果が出ている。 | | | | | |
| | | | ・B型・C型肝炎ウイルス検診の受診率50%にします | 47.3% | 466人(34.3%) | | | 40歳の未受診に対し受診勧奨通知を発送(9月2,457通) ※実績値()は、アンケート結果 | | | | | |
| | | | 陽性者への受診勧奨確認 | | | | | 確実に医療機関につながるために対象者への勧奨通知と連絡をとった 対象者3名(うち1名は治療の必要なしの診断あり) | | | | | |
| | | | ・B型・C型肝炎ウイルス陽性者の重症化予防の実施率を100%とします | 100% | 100% | | | | | | | | |
| | | | 胃がんリスク検査受診率 | | | | | | | | | | |
| | | | ・胃がんリスク検査の受診率を30%とします | 27.0% | 20.4% | 年度当初のがん検診案内及び10月には再勧奨を行った。 対象者5,463名 受診者1,114名 | | | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

| | |
|-----|---|
| 大目標 | 2. がん対策を推進します |
| | 目標1 がんによって亡くなる人を減らします |
| | 目標2 がんになってもみんなが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指します |

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| 主管課評価 | | | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | |
|-------|-------------------------|--------|--|-----------|---------------|---|--------|--------|--------|--|---------|-------|
| No. | 中目標 | 担当課 | 年度目標 | | 実施内容 | 年度評価 | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題 | 達成状況 | 評価と課題 |
| | | | H30目標 | H30実績 | | | 達成状況 | 課題 | | | | |
| (2) | がんの早期発見を推進(2次予防)します | 健康課 | 1 科学的根拠に基づいたがん検診の実施 | がん検診の実施率 | | 国の指針に基づいたがん検診を実施 大腸がん検診では医療機関と要精検者へ受診アンケートを配布及び電話勧奨にて実態把握。H29年度 受診者数22,704人、うち要精検者数1,554人 H29年度精密検査受診者数953名精検受診率61.4% ・精検の重要性を伝えることで精検受診率をさらに上げるため受診者全員へ配布するリーフレットを作成。 ・精検結果を確実に把握できるルートの構築:精検結果が市へ到達するルートの新構築に向け検診実施医療機関への説明会開催、精検受診の重要性を当事者へ説明してもらう、精検結果専用書式の設置により市と医療機関の連携の充実を図った。 おおむね順調 実施したアンケート結果によると、乳がん検診を受けた方は、50.8% 子宮頸がん検診を受けた方は、45.6%であった。 | おおむね順調 | おおむね順調 | おおむね順調 | 更なる受診率向上を目指し、受診勧奨となる対象者の工夫を重ねてください。 また、がんの早期発見のために精密検査の受診勧奨も積極的に実施してください。 | | |
| | | | ・国の指針に基づいたがん検診を実施 | 100.0% | 100.0% | | | | | | | |
| | | | 2 がん検診の質の向上 | | | | | | | | | |
| | | | 大腸がん検診精検受診率の向上 | 大腸がん精検受診率 | 58.1% | | | | | | R2年度に確定 | |
| | | | 3 がん検診の受診率の向上 | | | | | | | | | |
| | | | 乳がん検診の受診率 | 19.9% | 3358人 (50.8%) | ・対象年齢へ無料クーポン券及び受診勧奨通知発送。無料クーポン券発送数 6,085通 その他勧奨通知 4,446通 ・乳幼児健診の保護者対象にがん検診リーフレット配布 ・イオンモールにてピンクリボンキャンペーン開催 ・乳がん触診モデルを乳幼児健診会場に設置し教育を実施 ※実績値()は、アンケート結果 | | | | | | |
| | | | 子宮頸がん検診の受診率 | 18.2% | 3233人 (45.6%) | ・対象年齢へ無料クーポン券及び受診勧奨通知発送。無料クーポン券発送数 5,361通 その他勧奨通知 3,125通 ・乳幼児健診の保護者対象にがん検診リーフレット配布 ※実績値()は、アンケート結果 | | | | | | |
| | 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P 44～ | | <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; text-align: center;"> 調査書P17～に対する課内評価コメント </div> | | | | | | | | | |
| | | 調査結果評価 | がん検診の受診の有無 胃がん44.2%、肺がん56.6%、大腸がん61.4%、胃がんリスク33.6% 肝炎ウイルス検査34.3%、乳がん検診50.8%、子宮頸がん検診45.6% | | | | | | | | | |
| | | | がん検診は、約半数以上受けていることが分かった。職域での受診者が多い結果であったため、今後は職域受診可能層以外の対象者へ市の検診受診勧奨を進めていく。 | | | | | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

| | |
|-----|---|
| 大目標 | 2. がん対策を推進します |
| | 目標1 がんによって亡くなる人を減らします |
| | 目標2 がんになってもみんなが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指します |

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| 主管課評価 | | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | |
|-------|---|------------|---|------------------------------|---------------|--|---------|-----------------------------|---------|--|------|--|
| No. | 中目標 | 担当課 | 年度目標 | | 実施内容 | 年度評価 | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題 | 達成状況 | 評価と課題 |
| | | | H30目標 | H30実績 | | | 達成状況と課題 | 達成状況 | | | | |
| (3) | がんの健康教育およびがんの普及・啓発活動を推進します。 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P50～ | 健康課 学校課 | 小学生・中学生の頃からのがん教育のさらなる推進を図ります 1 市内の小学校・中学校におけるがん教育を実施 | がん教育の実施率 72% (18校) | 100% (25校) | ○日野市立病院菊永医師による出前授業を小学校5校、中学校2校に実施した。 ○がん教育は小学校体育の保健、中学校保健体育科保健分野において、小中学校全校で指導している。 ○夏季休業中に、日野市立小・中学校の教員を対象として、 ・菊永医師によるがんの出前授業の内容紹介 ・日野第一中学校脇本副校長によるがん教育の授業を考える際のポイントについての講義 ・これからがん教育を推進する上での課題や配慮点、養護教諭との連携等についての協議を内容とする研修を実施し、各校におけるがん教育の充実を図った。 | 達成 | 今後も継続し、医療との連携した教育の内容の工夫に努める | 達成 | 今後も継続して取り組みに努める 行動に結び付けるためには教育内容の工夫が必要である | 達成 | 今後も継続して取り組んでください。 学校等現場と意見交換を重ね、より理解が深まりがん教育の内容が浸透するよう工夫してください。 |
| (4) | がん患者やその家族への支援をすすめます 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P55 | | 大目標4「住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します」P83～により評価します。 | | | | | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

| | |
|-----|---|
| 大目標 | 3. 歯とお口の健康づくりを推進します |
| | 目標1 歯とお口の健康の大切さを知り、生涯にわたって健口であることを保ちます |
| | 目標2 予防や治療に向けてみんながかかりつけ歯科医を持ち歯科保健医療サービスを適切に活用します |

| | |
|-----------|--------------------------|
| 「達成状況の項目」 | |
| ・達成 | : 指標が10割または完全に達成 |
| ・順調 | : 指標が8割達成または順調に進んでいる |
| ・おおむね順調 | : 指標が5～6割達成、進んでいる |
| ・一部見直し | : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要 |
| ・全面見直し | : 全面的な見直しを要する |

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| No. | 中目標 | 担当課 | 主管課評価 | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | | |
|--------------|---|--|------------------|----------------------------|--|-------|--|------|--|------|---|------|------|
| | | | 年度目標 | | 実施内容 | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題 | 達成状況 | 評価と課題 | | |
| | | | H30目標 | H30実績 | | 年度評価 | 達成状況と課題 | | | | | | |
| (1) | 【乳幼児期】歯みがきや嘔む習慣を身につけ、むし歯のない健康なお口を育てます 第3期「日野げんき！」プラン冊子 P 59～ | 健康課 | 1. 6歳でむし歯ある児の受診率 | | 1歳6か月健診時に歯科医師・歯科衛生士による受診勧奨を実施した受診勧奨数:11人 | 順調 | 健診担当歯科医師と連携し、受診の必要のある子どもに対し指導を行っている。また、昨年引き続き保健師と連携し、ハイリスク児の支援を行った。1歳6か月児で仕上げを毎日行っていない保護者全員に個別指導を行うことで3歳児では、ほぼ全数が仕上げみがきを毎日行っている。フッ化物の利用について普及させるため周知啓発方法について検討を行う。 | 順調 | 継続して取り組みに努める。保健師と連携して行うハイリスク児の支援については受診の有無も確認するようにしたい。 | 順調 | 継続した取り組みは評価します。フッ化物の利用は正しい情報の提供と普及啓発に努めてください。 | | |
| | | | 1 | 1歳6か月児でむし歯のある子どもの歯科受診を支援する | | | | | | | | 100% | 100% |
| | | | 3歳でむし歯ある児の受診率 | | 3歳児健診時に歯科医師・歯科衛生士による受診勧奨を実施。受診勧奨数:151人 | | | | | | | 100% | 100% |
| | | | 2 | 3歳児でむし歯のある子どもの歯科受診を支援する | | | | | | | | | |
| | | | ハイリスク児の歯科受診率 | | 健診時、カンファレンスにあがった子(ハイリスク児)に保健師と一緒に受診勧奨を行った。受診勧奨数 2人 | | | | | | | 100% | 100% |
| 3 | ハイリスク児の歯科受診を支援する | 100% | 100% | | | | | | | | | | |
| 保護者の仕上げ磨き実施率 | | 健診アンケートから「仕上げ磨きしていない子」を抽出し保護者に直接指導を行った。指導数 17人 | 100% | 99.0% | | | | | | | | | |
| 4 | 3歳児で仕上げみがきの毎日実施している保護者の割合 | | | | 100% | 99.0% | | | | | | | |
| 自宅でのフッ素利用率 | | 1歳6か月健診時にはパンフレット配布によるフッ素の情報提供を実施3歳児健診では歯科医からの直接指導を行った。フッ素(歯磨き剤等)の使用数1,144人 | 73% | 70.3% | | | | | | | | | |
| 5 | 3歳児でフッ素(歯磨き剤等)を使用して口腔ケアをする保護者の割合 | | | | 73% | 70.3% | | | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

| | |
|-----|---|
| 大目標 | 3. 歯とお口の健康づくりを推進します |
| | 目標1 歯とお口の健康の大切さを知り、生涯にわたって健口であることを保ちます |
| | 目標2 予防や治療に向けてみんながかかりつけ歯科医を持ち歯科保健医療サービスを適切に活用します |

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| No. | 中目標 | 担当課 | 主管課評価 | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | |
|-----|---|-----|---|---|---------------------|-------|---|--------|---|---------|--|--------|---|
| | | | 年度目標 | | 実施内容 | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題 | 達成状況 | 評価と課題 | | |
| | | | H30目標 | H30実績 | | 年度評価 | 達成状況と課題 | | | | | | |
| (2) | 【学童期】歯とお口の健康づくりの基礎をつくりむし歯と歯周病を予防します 第3期「日野げんき！」プラン冊子 P66～ | 学校課 | 1 | 小6までむし歯ない子 12歳(小学校6年生)で永久歯にむし歯経験がない子どもを増やす | 82% | 79.8% | 学校歯科医による学校での歯磨き指導や虫歯予防月間における歯磨き指導に取り組んだ | おおむね順調 | 学校歯科医による学校での歯磨き指導や虫歯予防月間における歯磨き指導に取り組んだ | おおむね順調 | 受診率の目標値を上げるなど、更に指標の向上を目指して欲しい。 | おおむね順調 | 小学生の実績値が下がっているため、今後も学校との連携で家庭への働きかけを継続して取り組んでください。 |
| | | | 2 | 中1で要治療+受診した割合 中学1年生の要治療者が歯科医院を受診する割合を増やす | 55% | 59.5% | 歯科受診が必要な生徒は受診勧告を行い、未受診者には、9月～11月に再度受診のお知らせを配布した。 | | | | | | |
| (3) | 【成人期】かかりつけ歯科医で定期的に検診を受診し自己管理方法を習得することでお口の健康および全身の健康を守ります。 第3期「日野げんき！」プラン冊子 P71 | 健康課 | 1 | 歯周病検診の受診率 お口の健康診査(歯周病検診)の受診率を上げる | 15.0% | 9.0% | ・健康教育を充実し、健口手帳を活用することで、受診者のさらなるかかりつけ歯科医定着、口腔内の健康維持を図った。 ・受診者2,351人。 ・ウォーキングフェスタで健康教育を行い健診の重要性について周知を行った。また、若い世代への啓発として実践女子大のイベントに参加し口腔の健康の重要性について健康教育を行い健診受診を促した。 | おおむね順調 | 広く市民に事業周知を図るため、新たに各駅や大学にポスターを掲示してもらい、周知啓発の強化を図った。また、健康に関して関心が増してくる40歳をターゲットに勧奨を強化し、受診を促した。 | おおむね順調 | 取組内容は評価できるが、各年代における受診の必要性は変わってくると予想し、周知の方法や受診率が伸びない理由を検証し、啓発と周知活動の工夫が必要と考える。 | おおむね順調 | 実施内容が健診受診率につながっていないため、今後は未受診世代を分析し、受診率や定着率が上がるよう工夫に取り組んでください。 |
| | | | 2 | お口の健康診査(歯周病検診)の受診者がかかりつけ歯科医に定着率を上げる | 60.0% | 46.9% | | | | | | | |
| | | | | 調査結果評価 | 調査書P80～に対する課内評価コメント | | | | | | | | |
| | | | かかりつけ歯科医の割合 76.0% 歯科医に行くタイミング 不定期53.5% 日野市健診受診率 18.4% 健診受診したの方のかかりつけ歯科医の定着率4割半 健口手帳使用状況 使用23.7% ほか | | | | | | お口の健康診査を受診した方のかかりつけ歯科医の定着状況をみると、お口の健康診査を受診した場合は4割半になるが、受診したことが無い方は2割半にとどまる。この結果から、お口の健康診査の受診が、かかりつけ歯科医の定着に繋がっていることが分かる。 | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

| | |
|-------------|---|
| 大 目 標 | 3. 歯とお口の健康づくりを推進します 目標1 歯とお口の健康の大切さを知り、生涯にわたって健口であることを保ちます 目標2 予防や治療に向けてみんながかかりつけ歯科医を持ち歯科保健医療サービスを適切に活用します |
|-------------|---|

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| | | 主管課評価 | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | |
|-----|--|-------|--------|--|-------|------|---|---|---|---------|---|
| No. | 中目標 | 担当課 | 年度目標 | | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題 | 達成状況 | 評価と課題 | |
| | | | H30目標 | H30実績 | 実施内容 | 年度評価 | | | | | 達成状況と課題 |
| (4) | 【高齢期・障害のある方も含む】自分にあった口腔ケアを実践し、しっかり噛める歯を保ち食事を楽しむことをすすめます。 | 健康課 | 1 | 飲み込み機能低下者への支援体制を展開する、また地域でのフォローできる体制づくりをする。 | - | - | ・摂食嚥下機能低下を予防し障害を有する方を適切な支援につなげるため連携システムの試験的運用を開始した。 ・一部地域で運用を行い、運用状況を協議会で検討を行った。 ・機能低下を予防するために周知啓発用ポスターを作成した。 ・市民向け講演会(出張講座)を包括支援センターと連携し実施した。 ・健康教育の質の向上のため教育用ツールとしてパンフレットを作成した。 | 順調 | 一部地域で試行をスタートした連携システムだが、連携が広がり市内全域で試行できることになった。(3包括→9包括) | 順調 | 連携システムの広がりについては評価できる。今後需要が高まる事業のため、連携体制の構築や支援プログラムが重要であると思われる。地域包括との連携を継続し、拡充を進められたい。 |
| | | | 調査結果評価 | 調査書P94～に対する課内評価コメント | | | | 機能低下に関する認知度は高いので、今後は機能低下予防に向け行動変容ができるよう、周知啓発を進めていく。 | | | |
| | 第3期「日野げんき！」プラン冊子 P81～ | | | 食事中にむせることがある時々ある20.9% 加齢による飲み込み機能低下知っている88.4% | | | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

大目標 4. 住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します (地域包括ケアシステムの構築)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| | | 主管課評価 | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | | |
|---------------|-----------------------|--------|--|-----------------------------|---------|--|--|--------------------------|--|---------|-------|------|-------|---------|
| No. | 中目標 | 担当課 | 年度目標 | | | 実施内容 | 年度評価 | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題 | 達成状況 | 評価と課題 | |
| | | | H30目標 | H30実績 | 達成状況と課題 | | | 達成状況 | | | | | | |
| (1) | 総合的な健康情報の発信の体制を確立します | 健康課 | 情報誌の定期発行率 | | | 年2回のひのいき発行を実施。テーマは9月15日号「骨を元気に!」、2月15日号「睡眠」。 | 順調 | 達成状況と課題 | | 順調 | 順調 | 順調 | 順調 | |
| | | | 1 | 健康情報誌「ひのいき」を定期発行する | 100% | | | 100% | ひのいきは年2回発行(テーマ9月15日号「骨を元気に!」、2月15日号「睡眠」)。「ポケットナビ」は妊娠届出時と赤ちゃん訪問時に個別に利用方法を案内し利用を促した。フェイスブックを1回/月更新。フォロワー数197(H31年4月)。「ひのいた」に対して好意的なコメントも寄せられている。 | | | | | |
| | | | 「ぼけっとなび」の情報発信実施率 | | | | | 妊娠届出時と赤ちゃん訪問時に個別に利用方法を案内 | 順調 | | | | | 達成状況と課題 |
| | | | 2 | 子育てサイト「ぼけっとなび」による情報発信を充実する。 | 100% | | | | | | | | | |
| 広報、ホームページへの工夫 | | | ひのいた健康ノートなどを通じて、年間16回情報発信 | 順調 | 達成状況と課題 | | | | | | | | | |
| 3 | 広報、ホームページによる情報発信を工夫する | 100% | | | | 100% | フェイスブック運用実施 | | | | | | | |
| フェイスブック運用実施 | | | フェイスブックを1回/月更新。フォロワー数197(H31年4月)。 | 順調 | 達成状況と課題 | | | | | | | | | |
| 4 | メディアによる情報発信を工夫する | 100% | | | | 100% | 健康情報に関心が高い人は多く、認知経路はすべての年代にわたりテレビ・ラジオが最も多いが、若い世代ではインターネット、高齢の世代では紙媒体からも情報を得ているので、QRコードを用いるなど紙媒体とインターネットをつなぐような仕掛けを用いアクセシビリティを高めた情報提供が必要。ひのいきは年2回の発行だが2割以上が認識し、85%以上の人の記憶に残っている。キャラクターを用いた健康情報の提供についても、方法として好意的な意見が多く、今後も、キャラクターを交えながらわかりやすく健康情報を届けていく。 | | | | | | | |
| | | 調査結果評価 | <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">調査書P98～に対する課内評価コメント</div> <ul style="list-style-type: none"> 健康情報・関心があるか: あり82.9% 認知経路: テレビ・ラジオ78.9% ひのいき開読経験: あり22.6% キャラクターの感想で「そう思う」「ややそう思う」親しみやすい55.5%、見ようというきっかけになる61.1%、目を引きやすい53.3%、情報が伝わりやすい57.5%、字ばかりより読む気になる69.1%、若い人の関心を引き出しやすい46.1% | | | | | | | | | | | |
| | | | <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">第3期「日野げんき！」プラン冊子 P83～</div> | | | | | | | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

大目標 4. 住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します (地域包括ケアシステムの構築)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| | | 主管課評価 | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | |
|-----|--|---------|--|-------|-------|---|--------|--|------|---------|--|--------|---|
| No. | 中目標 | 担当課 | 年度目標 | H30年度 | | 実施内容 | 年度評価 | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題 | 達成状況 | 評価と課題 |
| | | | | H30目標 | H30実績 | | | 達成状況と課題 | 達成状況 | | | | |
| (2) | 医療と介護の連携を推進します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P85～ | 在宅療養支援課 | 1 在宅高齢者療養推進協議会のを核とした介護と医療の連携推進と強化をする | — | — | 「在宅高齢者療養推進協議会検討部会」及び「医療と介護の連携推進勉強会」を開催した。(各4回) 地域包括支援センター主催の地域別勉強会を18回開催(参加者延べ742人) | おおむね順調 | 勉強会等の開催を継続していくことで明らかとなった連携の課題を整理し、「連携ルール」として関係機関に周知する等、さらに円滑な多職種連携の実現が求められる。 | | おおむね順調 | 官民、医療と福祉、高齢者と障害者といった他機関連携体制の構築が今後の重要となる。今後は相談支援窓口の一本化、ワンストップ化などの更なる連携強化と実践化に向けた工夫を検討していく必要がある。 | おおむね順調 | 今時代の中、急速な需要に対応するための体制整備を、関係機関と連携し進めてください。 |
| | | | 2 在宅療養支援に関する専門相談窓口での対応と在宅療養に関する普及・啓発をする。 | — | — | 窓口相談の年間対応実績2,176件(前年度比86件増) | | 相談窓口の年間対応実績が2,000件を超える。今後も相談件数の増加が見込まれるため市全体での相談窓口体制の検討が必要。 | | | | | |
| | | | 3 在宅医療・介護の連携体制の構築、連携拠点の整備をする | — | — | 地域包括支援センターや市内外の医療機関とのネットワークづくりのための情報収集と協議を行う(市内病院7 市内在支診13 市外病院14 訪問) ※市内在支診が訪問後1つ廃院 | | 連携拠点としてのリーフレットを作成し、基本的な役割を整理し、関係機関回りをを行い、情報収集を行った。今後も引き続き、連携拠点について他機関とともに情報共有・協議していくことが必要。 | | | | | |
| | | | 4 在宅医療・介護サービスを一体的かつ切れ目なく提供できる体制整備をする。 | — | — | 在宅療養高齢者の病床の急変時等の緊急一時的な受け入れ先として、日野市立病院の病床を通年で2床を確保。入院患者実人数57人、入院延べ日数476日、病床稼働率65.2%(前年度比9.7%増) | | 病床稼働率が前年度より9.7%増加となり、日野市立病院と関係機関との連携や事業周知が進んでいる。今後はレスパイト入院への対応が課題。 | | | | | |
| | | | 大目標2-(4)がん患者やその家族への支援患者家族をサポートする体制づくり | — | — | ・日野市立病院の患者会の青葉の会が主催するがんカフェに保健師が参加し、適宜相談を受け体制を整備(8回) ・地域包括ケアシステムについての講演を実施(1回) | | 引き続き社会資源の把握に努めるとともに、緩和ケア講座等がん患者・家族が地域で快適に過ごすための知識の普及や啓発に努めることが必要。 | | | | | |

平成30年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

大目標 4. 住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します
(地域包括ケアシステムの構築)

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・おおむね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに「中目標」を評価します。

| | | 主管課評価 | | | | | | 庁内評価会議 | | 評価推進委員会 | | | |
|-----|--------------------|-------|--|-------|-------|--|------|--|--|---------|----------------------------------|------|--|
| No. | 中目標 | 担当課 | 年度目標 | H30年度 | | 実施内容 | 年度評価 | H30年度 | | 達成状況 | 評価と課題 | 達成状況 | 評価と課題 |
| | | | | H30目標 | H30実績 | | | 達成状況と課題 | 達成状況 | | | | |
| (3) | 地域連携による認知症対策を強化します | 高齢福祉課 | 1 認知症サポーターの養成や認知症高齢者徘徊発生時の検索ツール「靴シール」の導入 | — | — | 年間の認知症サポーターの養成者数は2,096人。若年層への取り組みは、市内小学校2回・中学校1回・高校15回と開催した。大学も含めた若年層における延べ受講者数は1,243人である。靴シールの利用者は、平成30年度末で297人で(認知症SOSネットワーク事前登録者の約87.4%) | — | — | 年間の認知症サポーターの養成者数は2,096人。若年層への取り組みは、市内小学校2回・中学校1回・高校15回と開催した。大学も含めた若年層における延べ受講者数は1,243人である。今年度は校長会を通して市内全小中学校で取り組めるよう働きかける。靴シールの利用者は、平成30年度末で297人で(認知症SOSネットワーク事前登録者の約87.4%)利用者は順調に増えており、実際の徘徊時に装着しているケースやシール装着により発見に至るケースが増えてきている。 | 順調 | 認知症サポーターの養成や靴シールの導入いづれも順調に進んでいる。 | 順調 | 目標に対し取り組み、実績は評価できません。今後も包括支援センター等関係機関と連携し、地域連携型のサポート体制の機能強化、サービス推進を進めていく必要があります。 |
| | | | 2 「医療連携型認知症カフェ」及び「認知症初期集中支援チーム」の設置をする | — | — | 地域連携型認知症疾患医療センターの機能を有する多摩平の森の病院に「認知症初期集中支援チーム」及び「医療連携型認知症カフェ」の機能を新たに設置できた。立ち上げ当時から訪問対象者13名に対し66回の訪問を実施し、そのうち12件については医療に結びついたり介護サービスの導入ができ終結した。「医療連携型認知症カフェ」の利用延べ人数は315人であった。 | 順調 | 地域連携型認知症疾患医療センターの機能を有する多摩平の森の病院に「認知症初期集中支援チーム」及び「医療連携型認知症カフェ」の機能を新たに設置できた。立ち上げ当時から訪問対象者13名に対し66回の訪問を実施し、そのうち12件については医療に結びついたり介護サービスの導入ができ終結した。今後は事業の機能が十分に発揮できるよう地域包括支援センター等の関係機関との連携を一層図ることで、認知症の支援体制を更に強化することとしたい。初期集中支援チーム検討会を通して、関係機関との継続的な意見交換の場を設け、課題の洗い出しや効果的な事業展開の手法について、引き続き協議・検討していく必要がある。「医療連携型認知症カフェ」の利用延べ人数は315人であった。今後は市内認知症カフェとの連携を図り、地域の身近な場所で医療のバックアップ体制が受けられるような体制を構築する。 | | | | | |